

## ガイダンス

1. 建築学と他の分野との関わり
2. 建築環境工学のキーワード
3. 環境共生学部で用意されている環境調整設備系科目の流れ
4. 住環境調整工学とは？
5. 講義の予定（辻原担当分，～05/28）

04月16日（金）	第1回目	ガイダンス
04月23日（金）	第2回目	住環境調整の歴史（その1）「森鷗外と建築環境工学」
04月30日（金）	第3回目	住環境調整の歴史（その2）「女性と住環境改善」
05月07日（金）	第4回目	住環境調整の歴史（その3）「暖房の歴史」
05月14日（金）	第5回目	住環境調整の歴史（その4）「冷房の歴史」
05月21日（金）	第6回目	環境デザイン学と環境心理学（その1）
05月28日（金）	第7回目	環境デザイン学と環境心理学（その2）

注1) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもあります。なお、上記のうち、1回を外部の実務家による講演会に充てることを考えています。その際には、講義中にその旨を伝達しますので、注意してください。

注2) 06月04日（金）以降は、中村泰人教授の担当です。

講義内容は、「品確法」、建築のライフサイクルマネジメント、環境アセスメントなど。

注3)（少なくとも辻原担当分の）講義は、いくつかの話題を紹介していく形式で進めます。その中で、興味を持った部分について自分で学んで欲しいと考えています。従って、特に予習などは必要とはしません。

## 6. 参考図書

- 1) 環境工学教科書研究会編著「環境工学教科書 第二版」（彰国社，3,675円，「環境設備原論」（2年生・後期配当，担当者：辻原）教科書）
- 2) 建築設備学教科書研究会編著「建築設備学教科書 新訂版」（彰国社，3,675円，「環境

設備システム学」（3年生・前期担当，担当者：中村教授）教科書）

また，辻原担当分の講義に関するその他の参考文献は，毎回配布する予定の資料の最後に載せます。附属図書館の所蔵情報も載せる予定ですので，できるだけ多くの文献に目を通すようにしてください。

#### 7．成績の評価

- 1) 出席点とレポートを総合して，評価します。定期試験は行いません。
- 2) 辻原の評価が50点，中村教授の評価が50点とし，それぞれ別々に評価を行い，その後にあわせて100点満点で住環境調整工学の最終評価とします。
- 3) 辻原の場合は，出席点が約3～4割，レポートが約6～7割として評価します。
- 4) 辻原の場合は，毎回，講義の最後に5～10分程度時間を設け，A4判のレポート用紙に5～10行程度，その回の講義の感想・意見・要望などを書いて提出することで，出席点とします。

#### 8．配付資料

講義で配布する資料などは，できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので，必要な人や欠席した人は，各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/jyuu.html/jyuukan.html>

#### 9．担当者

担当者の連絡先などは，以下の通りです。

教授・中村 泰人

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）3階西南角

電話：096-383-2929（内線475）

e-mail：ynaka@pu-kumamoto.ac.jp

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

住環境調整工学（第1回目）[金曜日・12:50～14:20・14番講義室]

2004.4.16  
環境共生学部・居住環境学専攻  
助教授・辻原万規彦

電話：096-383-2929（内線 492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線 482）

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp